

(実践報告) 抄録用紙

演題名 (全角 80 字以内)	訪問診療クリニックにおける看護師の役割①～当院の看護師業務の紹介～
演者名	佐藤久美、村田理恵、川井田佳美、岡田 豊、中村幸伸
所属	つばさクリニック

【はじめに】訪問診療を専門で行っているクリニックでは看護師が診療に同行することは必ずしも多くない。その理由として医師一人で診療が可能であること、診療補助を他職種でも賄えることができることなどが挙げられる。当院は岡山県倉敷市に開業した訪問診療専門のクリニックで、看護師が医師と常に同行する体制をとっている。今回当院の看護師業務を紹介し、訪問診療における看護師の役割について検討したので報告する。

【クリニックの紹介】当院スタッフは医師 11 名、看護師 14 名、MSW2 名、事務 6 名、ドライバー 8 名で構成され、平成 26 年 9 月現在約 400 名の在宅患者の診療を行っている。

【看護業務】①訪問診療チーム：訪問診療に同行し、診察や処置の介助、医材のお渡しなどを行う。診療終了後は看護師用診療記録の作成や、採血検体の提出、次回診療に必要な物品の準備、スケジュールの確認を行う。また退院前カンファレンスや担当者会議に医師と共に出席する。②診療支援チーム：事務所にて外部連携機関との電話対応や調整業務を行う。診療チームから依頼があれば医療機器や物品のお届けをする。翌日の診療準備やカルテ整理、また診療チームが帰院後は物品の片づけや補充も行う。③緊急対応：24 時間体制で当番看護師が緊急用電話を持ち、患者からの連絡に対応する。診療時間外に連絡を受けた場合は主治医に連絡し、往診が必要となれば医師と共に出動する。なお当番看護師は昼間は事務所内、夜間は自宅で待機する。④その他：医療物品の管理、初回訪問の事前説明、グリーンケア、看護師会議の運営、勉強会の開催などをそれぞれ分担して行っている。

【まとめ】訪問診療の質を向上維持していくためには看護師の知識、経験やコミュニケーション能力、きめ細かな気遣いや雰囲気づくりが必要ではないかと考えている。今後看護師のモチベーションも大事にしながら、看護師業務を発展させていきたい。